

大正中 道徳教育全体計画

学校教育の目標(めざす生徒像)

自己および自己をとりまく世界を読み解き

それを継承しながらより良い方向へ変えていこうとする意欲と実践力の育成

道徳教育の目標

自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性の育成。

「生き方」の時間

1 目標

自己の存在を、他者及び社会・世界との関わりの中から見つめ直す作業を通じて、誇りうる人間としての生き方とは何かを探求し、主体的に人生を切り拓いていく意欲と実践力を養う。

2 内容

“大正学びシステム”に則り、以下の学習内容を組み立てる。

- ①道徳的諸価値についての深い理解を促し、それを具現化する意欲を培う学習。
- ②一人一人の生徒が、日々の暮らしの中で生じる願いや悩みと向き合い、共感的な集団の中で、それを開示しあえる学習。
- ③「対話(考え議論する)」し、自他の考えを多面的・多角的に交流しあうことを通じて、生き方についての視野を広げ深める学習。
- ④コミュニティスクールの活動と連携し、家庭や地域の人たちの参画を求め、大人と共に生き方について考えあえる学習。
- ⑤本校の人権・同和教育実践の営み、財産を継承する学習。

学びあいの授業づくり

- ・授業づくり委員会
- ・みんなの授業研
- ・RHP(全員挙手)

RAISING HAND PROGRAM
レイジング ハンド プログラム

人権についての深い学び

- ・“世の中” “生き方” 科
- ・龍神合宿
- ・部落解放研究会
- ・「障害」者問題研究会
(あすなる会)

生徒や保護者との信頼構築

- ・教師の姿勢
- ・教師間の連携
- ・家庭訪問
- ・ホームページ

高め合う集団づくり

- ・生活班での学校生活
- ・「自分を語る」HR 活動
- ・野外活動/海洋体験
- ・生徒会活動

一人一人が輝く場面設定

- ・大中祭
(文化祭+体育大会)
- ・部活動
- ・各種体験活動
(職場体験、カレッジ体験、
地域めぐり など)

地域・家庭との協働・連携 (コミュニティスクール)

- ・“3本の竹” 事業
(学校・地域・家庭の3本の竹で
子どもを育てる連携事業)
- ・大正「学び力」育成委員会
- ・中学生友の会
- ・青少年健全育成協議会